香美市文芸

風の流れ

広報委員会　選

◆一般投稿作品◆

味噌玉にまだまだ負けぬ八十路かな　山﨑　寿美
亡き父の植えし大樹や夏の雲　千頭　野草
都内にも時折ホタルの飛ぶと云ふ　小原　景守
天・人・地正気に戻る稲光り　森本　幸美
朝体操全員合笑五月晴　三谷　誠郎
夜涼作句止むに止まれぬ八十の伽（とぎ）　高野　和一
水門を自在に流れ花筏（いかだ）　原　美幸
父の日や吾より小さき父となり　山﨑　貴子
ぬばたまの闇に香の立つ柚子の花　森本　純喜
新茶揉む母に倣（なら）いし事いくつ　岡田美代子
苗売り切れ印度姫てふ黒ずいか　福留とものり
梅雨晴間なぜか静かな日曜日　北村千鶴子
茶摘みして新茶の香りみ佛に　有澤　春江
淡き紅バラの花咲く初夏の日に　小野寺朱実

◆かがみ野俳句会◆

茶髪子の心に寄り添ふ梅雨一ト日　佐竹　洋子
里寺に嬰（やや）の声する蛍の夜　鍵山　和枝
梅辣韮（らっきょう）漬けて媼（おうな）の昼厨（ひるくりや）　佐藤　幸
手仕事に心を癒す梅雨ごもり　利根　弘子
沙羅咲くや一と日のいのち慈しむ　古川　信子
亡き夫の口笛かとも夏鶯　小松　愛子
明易し夫も目覚めてゐるらしく　中澤　美晴
一玉の雫集めて大葉蓮　森本　倢代
深緑や心整ふ風のあり　山﨑　鈴子
百足虫出て打ちのめしたる悔少し　吉田　芳

◆韮　句　会◆

中元の礼の字太くおどりそう　公文　春紀
提灯花むれて咲きたる岐れ道　岡本かほる
波のごと太藺（ふとい）の花の大ゆれに　高橋　章
松蝉や峡に失せたる桑畑　北村　幸子
十薬や食後娘は皆歯を磨く　甲藤　卓雄
乗る人のなき観覧車合歓の花　野﨑　典子
早乙女の結ひ懐かしみつつ老いし　北村　里子
青紫蘇の香りを刻み五目鮨　明石　英子
耳澄ましゐても届かぬ昼河鹿　篠﨑　亜希
竹の枝が咲かせしごとく花胡瓜　竹内　ろ草

◆かほく俳句会◆

悔ひとつ流しきれざる夜のシャワー　乾　真紀子
柿若葉今日ある命惜しむかな　奥宮さとみ
雨後の瀧浄土の界に轟けり　久保　貴女
時の日や余命の刻を誰も知らず　黒岩　幸女
ひんやりと明け水無月の空乾く　黒岩千英子
星涼し無人のごとく老夫婦　小松志津男
心待ちする人も来て夏句会　小松　隆之
小集落草刈り人の良く見えて　小松　昇
枇杷熟れて道に黄色の消火栓　小松　完
出来たての手揉み茶を先ず仏前に　杉山　春萌
紫蘇を揉む連綿と血は受け継がれ　野村　里史
紫陽花の衰ふ町の合併後　前田　欣一
田植終へ根付きの色となりにけり　前田　秀女
水音に草の丈にも六月来　間﨑　和代
尊しや松陰神社の落し文　森本　之子
朝まだき夜空の残る四葩（よひら）かな　山﨑かずみ
夏霧の高嶺を走る疾さかな　山中　晶子
父よりもごつい躯や夏休み　山中　瑞輝
夏場所や白星多き異人勢　山中　明石

◆土佐山田町俳句会◆

父の日に画鋲で止めるひげの顔　橋本　昭和
一望の青田空港までつづく　西川　常夫
信号のない村に住み立葵　森田　菊恵
山映し青き水面に影紫陽花　藤野　秋穂
日ノ御子の字名（あざな）何時より椎の花　明石　韮生
菖蒲絵に拝啓敬具とのみ書かれ　大石　邦男
守秘義務の封書の厚み青葉冷え　前田美智子
掻き傷に触れてゆく風蓮の花　安丸　槙子
旅先の訃報でありぬ半夏生（はんげしょう）　前田　小夜
枇杷熟れて登れば見える少年期　馬場　英男
祖母の忌の琥珀に透けて辣韮瓶　樫谷　雅道
能面の目で夏雲を丸く見る　中沢としみ
森光子でんぐり返り七変化　田村　一翠

今月のキラリ

早乙女の結ひ懐かしみつつ老いし

田植え風景を見て、時代の変遷を感じている様子を詠んだ一句。結ひ…互いに力を貸しあうこと。

俳句・短歌の投稿方法

▼投稿方法は自由。（ただし、ハガキで投稿の場合、一人一枚のハガキで5句（首）以内）
▼かい書で、住所、氏名、電話番号を必ず明記してください。
▼俳句は偶数月、短歌は奇数月に掲載します。掲載月の前月の1日までに投稿してください。
▼誌面の都合により掲載されない場合があります。なお、選者の添削を不要とする方は添削不要と記してください。

【投稿先】企画課内広報委員会事務局「俳句・短歌」係
〒782－8501（住所不要）　FAX 53－5958

香美市立美術館

アートの窓

　1970年に大阪で開催された『万国博覧会』を機にスタートした世界児童画展は、今年で39回展になります。

　当館での開催は15回目になり、昨年からは高知の子どもたちの入選作品に加え、愛媛・香川・徳島の子どもたちの作品も展示をしています。もちろん全国の優秀作品、海外作品も同時に楽しんでいただけます。

　この展覧会は、子どもたちの感性と理性の調和のとれた成長を願い、子どもたちが自らつくりだす造形文化の支援と、国境を越えて世界の人々をつなぐ国際相互理解を目的として開催されてきました。

　四国の子どもたちの生み出した自由で生き生きした作品、海外の国際色豊かな作品は、大人をも感動させる力に溢れています。特にふだん接することのない海外の子どもの表現方法の多様さも見所の一つだと思います。

　会場には、国内応募作品143，555点の中から選ばれた四国の入選・入賞作品895点（高知県187点・愛媛県360点・徳島県51点・香川県297点）と他県の特別賞3点、海外応募総数60，637点から選ばれた特別賞・入賞作品26点が並びます。

　子どもたちの描く世界を、ご家族おそろいでお楽しみください。多くの皆さまのご来館をお待ちしております。

（館長・北　泰子）

「第39回世界児童画展・四国展」

8月15日（土）～9月13日（日）

　この作品は、日本美術教育連合賞に輝いた、高知県・森本真央さん（当時小学4年生）の『鉄とうのある町』です。画面から上に突き出るように力強く描かれた鉄とうが印象的な作品です。赤・黄・青の三原色に緑や白と色彩も非常に明るく、鮮やかです。明快な色彩とたて線と横線で構成された画面からは、作者の強い意志や豊かな感性が伝わってくるようです。

吉井勇記念館だより

吉井勇顕彰短歌大会　作品募集

　平成22年3月20日（土）に開催される、第7回吉井勇顕彰短歌大会の作品を募集します。

■作品募集要項

【作品】 1人2首まで。自作、未発表のもので主題は自由。応募用紙または原稿用紙に、住所・氏名・年齢・性別・電話番号・大会当日の出欠・送迎バス利用の有無を明記してください。学生の場合は学校名、学年も記入してください。

【出詠料】 千円（高校生以下無料）

※郵便為替または現金書留にて、投稿時に納めてください。

【締切期限】
平成22年2月8日（月）必着

【選者】
玉井　清弘　氏（NHK学園短歌講座「友の会」選者・「音」選者）
楠瀬兵五郎　氏（高知県歌人連盟会長）

【賞】
一般の部・学生の部（高校生以下）ごとに各賞選出
吉井勇大賞（1首）・吉井勇賞（1首）・特別賞（2首）・佳作（若干首）

【入賞発表】 入賞者には3月上旬に電話連絡します。

【送迎バス】
市役所本庁前より、香美市役所香北支所前経由で、送迎バスを運行します。
行き　12時10分発（香北支所前12時30分）
帰り　16時10分発

【注意事項】
・受付後の作品の訂正はご遠慮ください。
・応募作品については、著作権等の一切の権利を主催者が有します。投稿後の作品の返却はいたしません。

【問い合わせ・申込先】
市立吉井勇記念館　吉井勇顕彰短歌大会　歌会係
〒781－4247
香美市香北町猪野々514
☎58－2220
FAX 57－5995